

1. 気候変動への賢い適応 ―地球温暖化影響・適応研究委員会報告書―目次

2008年6月 環境省 地球温暖化影響適応研究委員会

目次

はじめに

委員及びワーキンググループメンバー

目次

本検討による結論

検討の背景・目的

第一部 気候変動への賢い適応(総論・各論の概要)

1. 影響について

1.1 食料

1.2 水環境・水資源

1.3 自然生態系

1.4 防災・沿岸大都市

1.5 健康

1.6 国民生活・都市生活

1.7 途上国

1.8 その他

2. 適応について

2.1 適応とは

2.2 「賢い適応」とは

2.3 適応を阻む障壁

3. 今後の課題

参考: 影響の把握・予測・評価のあり方

引用文献

第二部第1章 将来の気候シナリオ・社会シナリオの概要

1.1 はじめに ―第1章の趣旨―

1.2 気候シナリオ

(1) IPCC 第4次評価報告書の気候システムに関する主な知見

(2) 日本の気候システム

1.3 社会シナリオ

(1) 人口

(2) 経済

1.4 今後の研究課題

引用文献

第二部第2章 食料分野

2.1 影響のメカニズム

(1) 影響のメカニズムの構成要素

(2) 影響のメカニズム

2.2 現在把握されている影響

(1) 農業

(2) 畜産業

(3) 水産業

(4) 食料分野における現在把握されている影響の総括

2.3 将来予測される影響

(1) 農業

(2) 畜産業

(3) 水産業

(4) 食料分野における将来予測される影響の総括

2.4 脆弱性の評価

(1) 脆弱性の評価手法の例

- (2) 脆弱性評価における課題
 - 2.5 適応策
 - (1) 適応策メニューとその体系
 - (2) 適応策の選択・実施にあたっての考え方
 - (3) 適応策を実施する上でのバリア
 - (4) 適応策として参考にできる既存の事例・政策
 - (5) 適応策の評価手法に関する研究動向
 - 2.6 今後の課題
 - (1) 影響
 - (2) 脆弱性
 - (3) 適応
- 引用文献

第二部第3章 水環境・水資源分野

- 3.1 影響のメカニズム
 - (1) 影響のメカニズムの構成要素
 - (2) 影響のメカニズム
 - 3.2 現在把握されている影響
 - (1) 降水量・積雪量の変化
 - (2) 河川水
 - (3) 湖沼・ダム湖
 - (4) 地下水
 - (5) 気候変動の進行に伴い、懸念される事象の既存類似事例
 - 3.3 将来予測される影響
 - (1) 河川水
 - (2) 湖沼・ダム湖
 - (3) 地下水
 - 3.4 脆弱性の評価
 - (1) 脆弱性の評価手法の例
 - (2) 脆弱性評価における課題
 - 3.5 適応策
 - (1) 適応策メニューとその体系
 - (2) 適応策の選択・実施にあたっての考え方
 - (3) 適応策を実施する上でのバリア
 - (4) 適応策として参考にできる既存の事例・政策
 - (5) 適応策の評価手法に関する研究動向
 - 3.6 今後の課題
 - (1) 影響の把握
 - (2) 脆弱性の評価
 - (3) 適応策
- 引用文献

第二部第4章 自然生態系分野

- 4.1 影響のメカニズム
 - (1) 影響のメカニズムの構成要素
 - (2) 影響のメカニズム
- 4.2 現在把握されている影響
 - (1) 森林生態系
 - (2) 高山生態系
 - (3) 淡水生態系
 - (4) 湿原
 - (5) 海洋生態系
 - (6) 沿岸生態系(サンゴ礁・マングローブ・干潟・藻場・砂浜等)
 - (7) 生物季節
 - (8) 生物多様性
 - (9) 自然生態系における温暖化の影響の可能性のある地域別の既存の影響
- 4.3 将来予測される影響

- (1) 森林生態系
 - (2) 高山生態系
 - (3) 淡水生態系
 - (4) 湿原
 - (5) 海洋生態系
 - (6) 沿岸生態系(サンゴ礁・マングローブ・干潟・藻場・砂浜等)
 - (7) 生物季節
 - (8) 生物多様性
 - (9) 自然生態系における地域別の将来予測される影響
- 4.4 脆弱性の評価
- (1) 脆弱性の評価手法の例
 - (2) 脆弱性評価における課題
- 4.5 適応策
- (1) 適応策メニューとその体系
 - (2) 適応策の選択・実施にあたっての考え方
 - (3) 適応策を実施する上でのバリア
 - (4) 適応策として参考にできる既存の事例・政策
 - (5) 適応策の評価手法に関する研究動向
- 4.6 今後の課題
- (1) 影響・脆弱性評価
 - (2) 適応
- 引用文献

第二部第5章 防災・沿岸大都市分野

- 5.1 影響のメカニズム
- (1) 影響のメカニズムの構成要素
 - (2) 影響のメカニズム
- 5.2 現在把握されている影響
- (1) 沿岸域
 - (2) 河川
- 5.3 将来予測される影響
- (1) 沿岸域
 - (2) 河川
- 5.4 脆弱性の評価
- (1) 脆弱性の評価の例
 - (2) 脆弱性評価における課題
- 5.5 適応策
- (1) 適応策メニューとその体系
 - (2) 適応策の選択・実施にあたっての考え方
 - (3) 適応策を実施する上でのバリア
 - (4) 適応策として参考にできる既存の事例・政策
 - (5) 適応策の評価手法に関する研究動向
- 5.6 今後の課題
- (1) 影響
 - (2) 脆弱性
 - (3) 適応
- 引用文献

第二部第6章 健康分野

- 6.1 影響のメカニズム
- (1) 影響のメカニズムの構成要素
 - (2) 影響のメカニズム
- 6.2 現在把握されている影響
- (1) 暑熱の影響
 - (2) 感染症への影響
 - (3) その他
- 6.3 将来予測される影響

- (1) 暑熱の影響
 - (2) 感染症への影響
 - 6.4 脆弱性の評価
 - (1) 脆弱性の評価手法の例
 - (2) 脆弱性評価における課題
 - 6.5 適応策
 - (1) 適応策メニューとその体系
 - (2) 適応策の選択・実施にあたっての考え方
 - (3) 適応策を実施する上でのバリア
 - (4) 適応策として参考にできる既存の事例・政策
 - (5) 適応策の評価手法に関する研究動向
 - 6.6 今後の課題
 - (1) 影響
 - (2) 脆弱性
 - (3) 適応
- 引用文献

第二部第7章 国民生活・都市生活分野

- 7.1 地球温暖化影響と国民生活
 - 7.2 現在把握されている影響
 - (1) 安全な暮らし
 - (2) 健康な暮らし
 - (3) 経済的に豊かな暮らし
 - (4) 快適な暮らし
 - (5) 文化や歴史を感じられる暮らし
 - 7.3 将来予想される影響
 - (1) 安全な暮らし
 - (2) 健康な暮らし
 - (3) 経済的に豊かな暮らし
 - (4) 快適な暮らし
 - (5) 文化や歴史を感じられる暮らし
 - 7.4 脆弱性の評価
 - (1) 脆弱性の評価の視点
 - (2) 脆弱性の評価における課題
 - 7.5 適応策
 - (1) 適応策のメニューとその体系
 - (2) 適応策の選択・実施にあたっての考え方
 - (3) 適応策を実施する上でのバリア
 - (4) 適応策として参考にできる既存の事例・政策
 - (5) 適応策の評価手法に関する研究動向
 - 7.6 今後の課題
 - (1) 影響
 - (2) 脆弱性
 - (3) 適応
- 引用文献

第二部第8章 途上国分野

- はじめに
- 8.1 影響のメカニズム
 - (1) 途上国の温暖化影響に特に関連する要素等
 - (2) 途上国の重要分野における温暖化影響のメカニズム
- 8.2 現在把握されている影響
 - (1) 途上国において把握されている温暖化影響
 - (2) 特に重要な小地域・分野別の温暖化影響
- 8.3 将来予測される影響
 - (1) 途上国において予測される温暖化影響
 - (2) 特に重要と予測される小地域・分野別の温暖化影響

- 8.4 社会的要素を考慮した脆弱性の評価(方法論・ツールの検討を含む)
 - (1) 温暖化影響分野に関わる途上国の社会的要素
 - (2) 途上国の脆弱性評価の事例
 - (3) 分野横断的に見て極めて脆弱性が高く、適応が必要と評価される地域・国等
 - (4) 脆弱性評価における課題
 - 8.5 適応策
 - (1) 途上国における適応策の考え方
 - (2) 適応策に係る我が国及び国際機関等の取組
 - (3) 適応策メニューとその体系
 - (4) 適応策の選択・実施にあたっての考え方
 - (5) 適応策を実施する上でのバリア
 - (6) 適応策として参考にできる既存の事例・政策
 - (7) 適応策の評価手法に関する研究動向
 - 8.6 今後の課題
 - (1) 影響・適応に関する研究課題
 - (2) 我が国の貢献すべき課題と取組
- 引用文献